



秋を探そう中央公園！！ 2016年11月24日（木）

今年で11回目となる地域交流分科会恒例のイベントは、11月としては54年ぶりの初雪に見舞われ、新宿中央公園内での催しは昨年の雨天同様に中止となりました。ランチタイムミニコンサートを新宿パークタワー1階アトリウムにて開催。

サクソフォン奏者の物井氏と菅原氏の演奏は、飾られた大きなツリーとマッチしたクリスマス曲メドレーやスタンダードナンバー、TV主題歌などで、雪の中聴きに訪れた方やビルに勤務される方のお昼の心地よいひとときとなりました。

協力：東京ガス都市開発（株）・銀座山野楽器 ヤマノミュージックスクール新宿



生活環境分科会見学会

日時：2016年11月30日（水）13時30分～15時

場所：北越紀州製紙関東工場市川

参加人数：27名（地域の在住、在勤の方）

目的：様々な生活・環境問題に対して地域への意識啓発を行う為、関連施設を見学し、現状を理解すると共に課題の解決に繋げる。

少し曇り空の中、市川駅に集合し、工場まで徒歩でゆっくり15分ぐらいで到着しました。この工場は、北越と紀州の製紙工場が統合し、1920年12月に市川工場が運転開始したそうです。創立1907年（明治40年4月）、全国に工場や営業所があり、フランス、中国、カナダにも工場がある歴史のある会社です。市川工場は、回収した古紙を7層に重ねて厚紙の再生紙を作っていました。案内のビデオを少し見せていただいた後、創立当時からある煉瓦造りの建物も現存している、東京ドーム1個分ぐらいの大きさの工場内を拝見させていただきました。工場内は、大きなローラーや色んな機械の音がするところなので、各自イヤホンで説明を聞きながら、段差も注意を促してもらい、安全に見学出来ました。機械化されている工場内でしたが、回収されてきた古紙の分別は、手作業で人間の目で確認していると聞き、分別の大切さを、今一度気をつけなければと強く反省しました。古紙にいられてはいけない禁忌品があることも知りませんでした。何気なく見てきたお菓子、調味料等の箱や贈答品の外箱、他色々な厚紙加工されたものを、これからは、大切に扱い分別していこうと思います。

（参加者S.A様 寄稿）



つのはず友遊カフェ スケジュール

開催時間（各回共通）13：30～15：30（ラストオーダー）

1月18日（水）イベント：松永姉妹ライブ

2月15日（水）イベント：テーブルマジック

3月15日（水）



「わいわい地域交流！」の紙面作りにご意見・ご感想のある方、情報を掲載したい方、紙面作りに参加したい方、大歓迎！ご連絡をお待ちしております。次回も地域に密着した話題をお届けいたします。次回の発行は2017年4月の予定です。

【連絡先・発行元】

角筈地区協議会「地域交流分科会」事務局（角筈特別出張所内）

TEL：03-3377-4381 FAX：03-5350-2868 E-MAIL：tsunohazu@city.shinjuku.lg.jp

HP：http://www.city.shinjuku.lg.jp/soshiki/262200tunohazu_01.html

西新宿地域情報紙 わいわい地域交流！第41号 発行日：2017年1月1日



わいわい地域交流！

東京の中心、都庁のとなり、都会のオアシス
私たち地域住民のコミュニケーションをここから発信しよう！！

地域の水にまつわる史跡



淀橋浄水場・1962年頃撮影（新宿区歴史博物館蔵）

淀橋浄水場がなくなって50年。水に深く関わってきたこのまちの、水に関する史跡をたどってみました。

①写真工業発祥の地

明治35年5月小西六写真工業（現コニカミノルタ（株））が、写真感光材料の国産化を図り、玉川上水取水堀から良質な水を得られるこの地に研究所と工場（六桜社）を建設し操業した。同社はさらにカメラの製造も始め、写真フィルムの国産化にも成功した。昭和38年、新宿副都心建設事業により八王子、日野へ移転するまで操業。2011年に「六桜社跡」として、新宿区地域文化財に認定。
所在地：新宿区西新宿 2-11 新宿中央公園内



②西新宿4丁目の井戸



現存する西新宿の井戸。11年前に新宿区の災害時協力井戸に指定された。夏は冷たく冬温かい井戸水である。
所在地：新宿区西新宿 4-27-5



③策(むち)の井

享保年間、徳川家康が鷹狩りの途中、この井戸にて水を飲み、策(むち)を洗ったという井戸。昭和60年、新宿エルタワービル新築のため井戸は蓋をし上はビルの車寄せに。現在は約15m南に策の井のモニュメントと説明版がある。
所在地：新宿区西新宿 1-6-17



④馬水槽



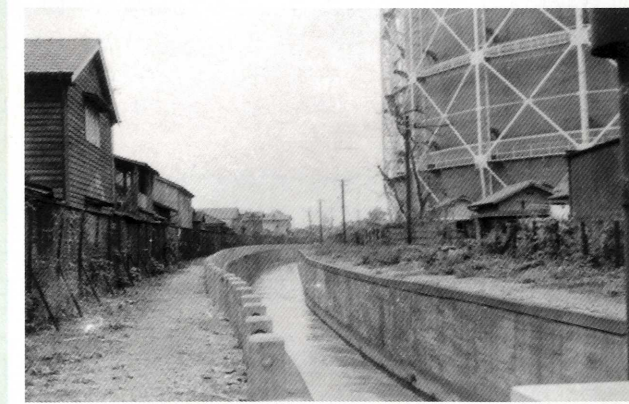
新宿駅東口に置かれている馬水槽。昔交通手段として使われていた馬が水を飲むためのもので、前面上部が馬用、下部が犬猫用、裏面が人間の飲み場になっていた。
明治34年ごろにロンドン水槽協会から東京市に寄贈されたものが各地を転々とし、昭和39年に現在地に設置。世界でも数少なく貴重な史跡として、新宿区指定文化財に選ばれている。
所在地：新宿区新宿 3-23

⑥淀橋浄水場・水道道路

1654年（承応3年）6月に武州羽村から江戸木戸間10里30町の上水は通水した。続いて大木戸より虎ノ門までの満彊を開拓し江戸住民の用水に供した。川よりの通水のため、不衛生な飲料水で明治24年7月給水規則、水料徴収予算が提出され東京市が淀橋浄水場の建設工事を行った。明治25年4月用地買収着手、浄水場の施工を行った。26年3月新水路用地も含め買収を解決。明治32年12月工事落成式が行われた。

新宿の発展は東口を中心に進んでいた。西口には大蔵省専売淀橋タバコ工場が駅前を塞いでおり、背後には34万平方メートル（10万3000坪）の淀橋浄水場が横たわっていた。甲州街道と青梅街道の交通量の増大と人口の増加により省線や市電、市バスが集まり更に東京医専、府立6中、府立5女学校、工学院が建ち、昭和12年淀橋タバコ工場は品川に移転、西口の街づくりが始まった。その後、淀橋浄水場は東村山浄水場に移転した。

羽村取水から淀橋浄水場までの導水が水路として活用され、浄水場の廃止と共に埋め戻されて道路となった。これが現在の水道道路である。



1952年頃撮影（新宿区歴史博物館蔵）

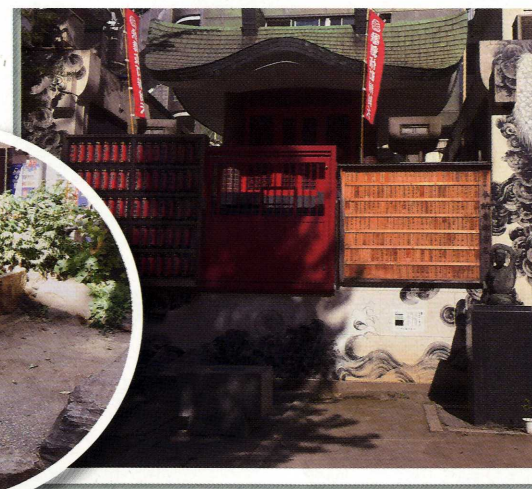
わがまちの区境

「神田川に架かる菖蒲橋と相生橋」

西新宿5丁目を南から北に流れる神田川は、新宿区と中野区の区境になっています。
菖蒲橋：写真奥側が下流。川の右側が新宿区。左側と橋の手前は中野区。
相生橋：写真奥側が上流。川の左側が新宿区。右側は中野区。



⑤歌舞伎町弁財天



歌舞伎町は肥前国（長崎）大村藩主だった大村家の別荘があり、広大な沼があった。大正2年、上野寛永寺の不忍弁天様の分祀として本尊を勧請、沼に祠が祀られたのが始まり。淀橋浄水場建設の残土で沼は埋め立てられ、弁財天は現在の場所に。敷地内には弁天堂らしく池が配置されていたが、その池も現在は水が枯れてしまい、周囲と池中の飛び石が残るのみとなっている。

所在地：新宿区歌舞伎町 1-13-3